THE ROTARY CLUB OF HIROSHIMA HATSUKAICHI

広島廿日市ロータリークラブ会報

2013年 2月号 No.380

◆◆◆ 本年度会長方針 ◆◆◆

「和のこころをつなげよう」

例会日／毎週月曜日 12:30～13:30
例会場／広島サンプラザ　TEL (082) 278-5000
会　長／中井　克洋　　幹事／佐伯　敬男

事務局
〒738-0015 広島県廿日市市本町５番１号
廿日市市商工保健会館 4F
TEL（0829）31-5490　FAX（0829）31-5491
E-mail ／ office20@h-hrc.com
URL ／ http://www.h-hrc.com/

第766回　広島サンプラザ　2013年２月４日

会長時間

会長　**中井　克洋**

今月はロータリー世界理解月間ですが、卓話で渡邊理事からそれに関して詳しいお話がありますので、ロータリーに関する話ではない別の話題を話させていただきます。

最近、柔道界やスポーツの強豪校などでの指導者による体罰の問題がクローズアップされています。確かに暴力はいけないのですが、巨人の星やアタックＮＯ１をみて育った私たちからみれば、率直にいって、時代がかわったなという印象を強くもちます。みなさんはいかがでしょうか。

それはそれとして、弁護士的にみれば、これらの問題はいわゆるパワハラの問題です。パワハラにおいて違法性が認められるためには、上司や指導者がそれらの言動を行うにあたっての①必要性と②相当性の２つの要件からみて、必要性がないとか、必要かもしれないがそこまでする（あるいはそこまでいう）ことはないだろうということが必要です。

似たような話で、セクハラの問題がありますが、セクハラは基本的に違法性の判断がパワハラに比べて容易なことがほとんどです。上司や指導者が、その指導の目的を達成するために性的言動を行う必要性がある場合というのは通常は考えられないからです。そのためセクハラの違法性は、必要性の面からみてすぐに認められやすいのです。

これに対してパワハラは違います。指導のためにある程度部下に厳しいことをいわなければならないことは、皆さんの事業経営の中でも日常茶飯事だと思います。つまりパワハラにおいて、通常、「必要性」は認められます。そこで「相当性」だけで判断しなければならないというのが、パワハラの違法性判断が難しい原因なのです。

例えば現在の常識では、暴力は「相当性」に欠けるということになるのでしょう。しかし我々の子供から学生にかけての時代（スポーツで上達するためには根性が必要だというのが常識だった時代）には、例えば野球部でのケツバットは、座禅で雑念がわいたときに喝を入れてもらうことと同様のものと思っていた人が普通だったのではないか、と思います。そういえば「根性」という言葉もいつの間にか使われなくなってしまいましたね。

つまり何が「相当」かは時代や人によって移り変わるあやふやなものなのです。しかしそのあやふやな「相当性」の判断だけで、違法かどうかを判断せざるをえないのが、パワハラの難しさなのです。

ちなみに、損害保険の事故処理件数が芳しい成果をあげられなかった社員に対して、上司が他の社員にも届く同時送信メールによって「やる気がないのなら、会社を辞めるべきだと思います。」「あなたの給料で何人、事務職が雇えると思いますか。」などと言いました。そしてそれを言われた人が慰謝料請求訴訟を起こし、１審では相当性の範囲だとして請求を認められなかったのに対して、２審では名誉棄損として５万円の請求が認められました。皆さんはどう思いますか？

幹事報告

①広島 14RC 合同ゴルフ大会

4/28（日）広島カンツリー倶楽部　西条コースにて、広島 14RC 合同懇親ゴルフ大会が開催されます。ボックスに案内を配布しておりますので、ご参加をよろしくお願いします。

②理事会

本日例会終了後、3 階「末広の間」におきまして理事会を開催します。本年度の理事役員の方はご参集ください。

卓　話

世界理解月間に因んで

奉仕プロジェクト理事　**渡邊　英晶** 会員

1905 年 2 月 23 日は、ポール･ハリス、ガスターバス･ローア、シルベスター･シール、ハイラム･ショーレーの 4 人がシカゴで初めて会合を開いた日で、この日はロータリー創立記念日です。そして、この日は世界理解と平和の日（World Understanding and PeaceDay）と決められております。

ロータリアンは国際的な現状を理解し、世界平和を実現する心を持つ事が必要です。

現実には世界各地で相互理解の不足などに起因する争いごとが勃発しています。我々１人１人がロータリーの推奨する活動をすることで世界に平和をもたらします。

「自分一人の力では何もできない」とあきらめてしまうのは早計で誰かが何かを始めなければ、現存する課題は何も解決しません。ロータリーでは世界平和に貢献することができる様々なプロジェクトが毎年計画されています。

例：世界社会奉仕や国際奉仕、国際親善奨学生や研究グループ交換（ＧＳＥ）米山奨学生や青少年交換などのプロジェクト等です。

また海外の姉妹クラブや友好クラブを持っているクラブは交流を活発にして相手の国を理解する事により平和の推進につながっています。現在 200 以上の国と地域で活動するロータリーは会員１２３万人で、それぞれ「奉仕を通じて平和を推進」する活動をしています。そして将来にも目を向け平和な世界を後世に残していくには、意義ある活動に若者たちの参加を呼びかける事が必要でしょう。

2012-13 年度、国際ロータリーは世界 3 地区で「ロータリー世界平和フォーラム」の開催を決定しました。

2012 年 11 月 30 ～ 12 月 2 日　ベルリン（ドイツ）
テーマ　国境のない平和　民主主義の役割国際共同委員会の功績と役割を紹介
2013 年 1 月 25 ～ 27 日　ホノルル（米国ハワイ）
テーマ　平和にいたる緑の道人類が共有する環境資源の保存と保護、
2013 年 5 月 17 ～ 18 日　　広島（日本）
テーマ　平和はあなたから始まる　日々の生活や地域社会での活動で平和を推進する方法を考察

国際 RI は次の活動項目を、クラブとしてテーマ「世界理解と平和」の推奨する項目として挙げています。

○平和に焦点を当て、紛争の解決の手段等の意見交換の場を設ける。
○地域の少数派グループ（民族や宗教上の少数派など）をフォーラムに招き、新たな友情と協力関係を生み出す。
○地元団体と協力して、地域における平和と紛争予防のための合同推進プロジェクト。
○ローターアクター、インターアクター、青少年交換学生、RYLA 参加者を招いてフォーラムを開き、毎日の生活の中で平和とは何かを考える。
○非行による暴力やいじめなど、争いの原因に青少年

が対処できるよう支援する方法。

○世界理解と平和の推進におけるクラブの取り組みを象徴するようなイベントを開く。

○姉妹クラブや友好クラブの関係を結んでいる場合、2 国間の平和的関係を推進するための合同プロジェクト等や国家間理解を深める交流。

まとめ

紛争には、必ず元になる以下のような要因と原因があります。それらを各々が理解して行動しなければ、成果をあげることは難しいかもしれません。

○国家利益に基づく覇権主義（国土、天然資源等）
○異なる宗教
○独裁国家
○過度のナショナリズム
○政治不安
○民族間の歴史問題
○国際的な理解度不足
○その他　貧困　麻薬問題、教育　等

我々ロータリアンに課せられた命題とは平和で安全な社会を次世代に伝えることです。政治では解決できない問題も、世界の 200 カ国のロータリーが、そして各々のロータリアンが活動することにより、人類が世界平和を手にし、それを維持していく日が来るかもしれません。それがロータリークラブの崇高な最終目標の一つでありますから。

誕生日祝

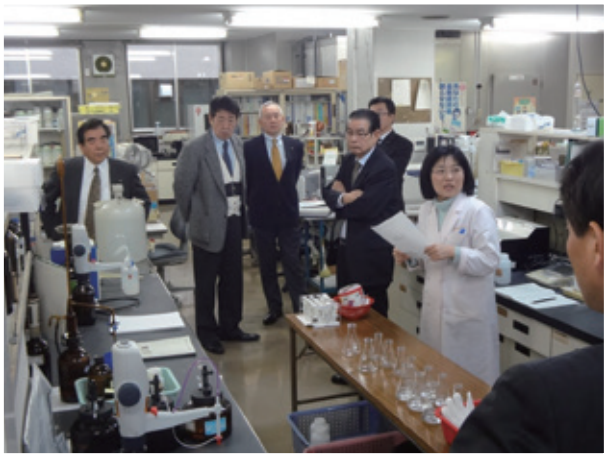
川﨑　尚会員	昭和 6 年 2 月 21 日	82 歳
大藤　良治会員	昭和 13 年 2 月 27 日	75 歳
平塩　清種会員	昭和 17 年 2 月 4 日	71 歳
下向　繁美会員	昭和 21 年 2 月 4 日	67 歳
澤井　誠会員	昭和 25 年 2 月 17 日	63 歳
福原耕二郎会員	昭和 26 年 2 月 16 日	62 歳
吉野　篤敬会員	昭和 36 年 2 月 14 日	52 歳

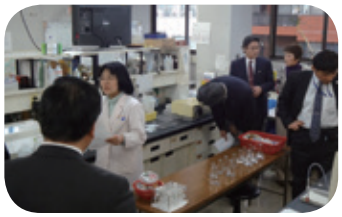
スマイルボックス

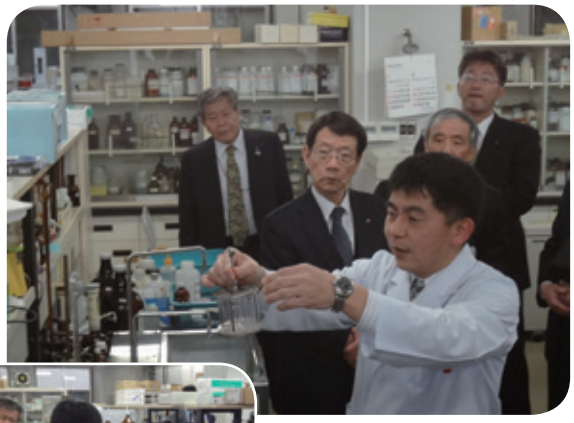
永井　勝康	中井　克洋	平塩　清種
福原耕二郎	藤岡　哲也	佐伯　敬男
藤木　寛	植田　敏揮	松本　猛
松野　正信	上杉　昌幸	

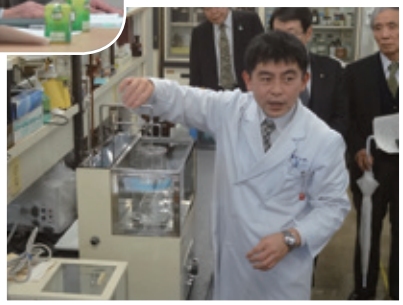
第 767 回　薬剤師会検査センター　2013 年 2 月 18 日

職場訪問例会









幹事報告

①ロータリー国際囲碁大会

4 月 12 日（金）～ 13 日（土）韓国にておいて「第 14 回ロータリー国際囲碁大会」が開催されます。参加をお考えの方は事務局までご連絡ください。

スマイルボックス

川﨑　　尚（2 月 12 日）

第 768 回　**広島サンプラザ**　2013 年 2 月 25 日

会長時間

会長　**中井　克洋**

大震災の発生直後から、皆さんも個人や所属団体など様々な場面で多くの復興支援活動をされていると思います。また当クラブでもいくつかの復興支援活動をしてきました。

しかし以前から当クラブで支援した活動についての結果報告などをすべきであるとの声があり、この 2 月 4 日の理事会において、今日の会長時間の場で私がその報告を簡単にすることが決まりましたので、本日はそのご報告をさせていただきます。

まずは 2011 年 3 月 11 日の震災直後に姉妹クラブの台北市南港ＲＣから送金いただいた 160 万円に、当クラブからの 100 万円をあわせ、合計 260 万円を 3 月 29 日に 2710 地区に送金しました。地区内の義援金は 6 月 20 日までに合計約 5180 万円が集まりました。そのうち約 261 万円は 2520 地区（岩手・宮城）への支援物資費用として送金され、残りはガバナー会に送金されました。

そのガバナー会に送金されたお金がどのように使われたかについては、ロータリーの友 2012 年 8 月号に説明がされています。要約すると、ガバナー会には 2011 年 6 月末までの間に約 10 億円の義援金が集まり、そのうち約 12%を被災地区に配分した残りの約 8 億 7 千万円についての使途について、地区に即刻配分すべきか、将来の青少年の教育環境改善のために使うべきかの議論の末、ガバナー会として「米百俵」の精神や関東大震災のときの前例にならって後者を選ぶことになりました。賛同を得られなかった地区には義援金を返還したうえで、残り 10 地区の賛同地区による約 3 億円が残

り、そのお金で被災遺児の大学生、短大生、専門学校生に入学してから卒業するまでの間、月５万円を無償給付を行うという内容の「ロータリー希望の風奨学金」が立ち上げられました。その賛同地区には、我々の属する 2710 地区も含まれていますので、我々が送った義援金もそれに使われているということになります。
そのほか、我々を含めた地区の各クラブが地区行事に支出した参加申込費で剰余が出たものを利用して、被災地区に漁船を寄贈するなどの地区活動もされています。

さらに 2012 年８月に、西南ＲＣが宮城県岩沼の子供たちを広島に呼ぶプロジェクトを実行され、その際の予算 100 万円のうち 10 万円を当クラブが寄付するとともに、歓迎会にも二村新世代理事や我々会長、副会長、幹事が参加しました。

本日、メールや BOX でご案内したように、第 2710 地区東日本大震災支援委員会で「東日本こども復興支援プロジェクト」のプロジェクトが計画され、東北から小学生 40 名、ロータリーアン３名、看護師１名

合計 44 名が４月２日から２泊３日で来広されることになりました。今回は各クラブの費用負担はないとのご報告をいただいていますが、そこで催されるいくつかの行事に各クラブの家族に参加してもらいたいとのご案内がきています。みなさん、ぜひご協力下さい。

幹事報告

①理事会

本日例会終了後　２階「せいうんの間」におきまして、次年度理事会を開催します。次年度　理事・役員の方はお集りください。

スマイルボックス

大藤　良治　　下向　繁美　　澤井　　誠
平塩　清種　　尾﨑　宏明　　近藤　英昭

卓　話

株式会社　ディアフォロン
代表取締役社長　**池本　良子** 様

活動報告

2013 年２月 18 日

薬物乱用防止教室

奉仕プロジェクト理事　**渡邊　英晶** 会員

６年生児童を対象に「薬物乱用防止教室」を勤めました。廿日市市教育委員会からの要請での奉仕活動です。広島廿日市ロータリークラブのヤングキャンペーン薬物乱用防止活動についての様子もお話しました。寒い教室でしたが、一生懸命聞いてくれました。みんな純粋で澄んだ目をしている。子供たちを守るのは私たち大人の役目として活動して行きたいですね。

2013年2月17日

水保全活動　御手洗川清掃

場所：廿日市宮内市民センター

2月17日　恒例の広島廿日市ロータリークラブ、廿日市御手洗川の清掃ボランティアです。桜並木に肥料も散布して春へ備えました。日頃の運動不足がモロに効きます。(￣◇￣;)

2013年2月12日

インフォーマル・ミーティング